

公表監第8号

地方自治法第199条第2項及び第4項の規定による定期監査を実施したので、
同条第9項の規定に従い、別紙のとおり公表します。

令和2年2月12日

西宮市監査委員	亀井健
同	石橋正紀
同	大原智
同	菅野雅一

付記

報告監第20号	定期監査結果報告	防災危機管理局
報告監第21号	定期監査結果報告	市民局
報告監第22号	定期監査結果報告	会計室
報告監第23号	定期監査結果報告	消防局

目 次

消 防 局

第1	監 査 の 対 象	23 - 2
第2	監査の期間及び方法	23 - 3
第3	監 査 の 結 果	23 - 3
	1 収 入 事 務	23 - 3
	2 支 出 事 務	23 - 3
	3 財 産 管 理 事 務	23 - 3
	4 服 務 関 係	23 - 3
	5 委 託 業 務 等	23 - 3
	6 業 務 実 績 等	23 - 4
	7 む す び	23 - 4
	資 料	23 - 6

凡 例

- 1 各表中の符号は、次のとおりです。
「0」「0. 0」は、0または単位未満のもの。
「△」は、減少・低下。
「-」は、算出不能・不要。
- 2 文中及び表中に用いている比率は、原則として小数点以下第2位を四捨五入しています。このため、合計と内訳の計、差引きが一致しない場合があります。
- 3 文中及び表中に用いている数値で、千円単位又は万円単位で表示しているものは、単位未満を切捨てています。このため、合計と内訳の計、差引きが一致しない場合があります。
- 4 原則として、「第3 監査の結果」以降の文中及び表中の元号表記のうち、「平成」は省略しています。

西宮市監査委員	亀井	健
同	石橋	正紀
同	大原	智
同	菅野	雅一

定期監査結果報告
(消防局)

地方自治法第199条第2項及び第4項の規定により定期監査を行った結果は次のとおりです。同条第9項の規定に従い報告します。

定期監査結果報告書

第1 監査の対象

消防局における、主として平成31年4月1日から令和元年8月31日までの期間に執行された事務を対象に監査を実施しました。

なお、報告書の作成にあたっては、事務の執行状況について、できるだけ直近の数値を用いるよう努めました。

監査の対象とした消防局の組織及び職員数の状況(平成31年4月1日現在)は以下のとおりです。

(単位：人)

組 織		正規職員	嘱託職員
消防局長		1	
消 防 局	総務部長	1	
	総務課	11 (2)	
	企画課	7	1
	警防部長	1	
	予防課	7 (1)	
	指令課	23 (2)	
	警防課	20 (2)	1
	救急課	5 (2)	
消 防 署	西宮消防署	66 (1)	
	北夙川分署	38 (1)	
	鳴尾消防署	59 (3)	
	浜分署	28 (1)	
	瓦木消防署	50 (1)	
	甲東分署	38 (1)	
	北消防署	56 (1)	
	山口分署	28 (1)	
計		439 (19)	2
定 数		522	—
定数外	初任教育派遣	18	
	救急救命士養成課程派遣	4	
	学校教官派遣	1	
	災害医療センター派遣	1	

注 ()は再任用短時間勤務職員で外数。

第2 監査の期間及び方法

令和元年10月15日から事務局監査に入り、令和2年1月15日に監査委員による質問会を実施し、その後、結果報告の審議を行いました。

第3 監査の結果

次のとおりです。

1 収入事務

収入事務について関係書類を抽出して調査したところ、適正に処理されていました。

2 支出事務 ※「資料1」参照

支出事務について関係書類を抽出して調査したところ、おおむね適正に処理されていました。

3 財産管理事務 ※「資料2」参照

財産管理に関連する事務について関係書類を抽出調査し、また備品等については現物と照合する方法により調査したところ、おおむね適正に処理されていました。なお、使用見込みがないものが一部に見られましたので、適正な管理に努めてください。

4 服務関係

服務関係の事務について、関係書類を抽出して調査したところ、おおむね適正に処理されていました。

5 委託業務等 ※「資料3～5」参照

(1) 委託業務

監査の対象とした委託業務から4件を抽出して調査したところ、おおむね適正に処理されていましたが、業務従事者資格について未確認の事例がありますので、仕様書等の記載内容の再チェックと書面等による確認を図り、市民や業務従事者の安全を確保してください。

(2) 請負工事

監査の対象とした請負工事から3件を抽出して調査したところ、おおむね適正に処理されていました。

6 業務実績等 ※「資料6～7」参照

(1) 救急活動業務

救急活動及び事務処理の標準化とリスク管理を図るため、「西宮市救急活動基準」及び「西宮市救急隊員等感染防止マニュアル」を制定し、全ての救急隊員に周知しています。また、日常で発生したヒヤリハット事例の報告を基に、救急KYT(危険予知トレーニング)シートを作成し、日常に潜在する救急業務リスクを隊員間で共有するなど、リスク管理能力の向上を図っています。今後とも、消防救急業務のリスク管理の推進に努めてください。

(2) 消防無線設備

消防無線設備は、主にデジタル方式の消防救急無線とアナログ方式の署活動用無線機で構成されています。消防救急無線は、通信指令室と災害現場の出動隊間における情報伝達手段として使用しており、27年度からデジタル方式での運用を開始しています。また署活動用無線機は、災害現場出動隊員間で使用し、部隊内における情報共有や隊員の安全管理等に活用しており、デジタル方式への移行の対象外となっています。

なお、消防本部が第二庁舎(危機管理センター)へ移転することに伴い、令和2年度中に消防局に設置のデジタル無線設備の移設工事を実施する予定です。消防救急無線は、機器の更新時には構築時と同程度程度の費用負担が必要となる可能性があるため、更新時期が集中しないよう使用頻度の高い機器から順次更新するなど、予算の平準化も考慮した整備計画を検討しています。署活動用無線機は29年度から毎年21台を更新するとともに、消防職員の増員に伴い毎年5台程度を新規整備することで必要台数312台の配備を完了させる計画をしています。今後とも機器の更新時期や必要台数を精査のうえ整備を進めてください。また、高度・複雑化する無線機器の配備には契約の透明性が求められますので、より一層説明責任を果たせるような選定手続きを検討してください。

7 む す び

主に財務事務を中心に監査を実施しましたが、大きな事務処理の誤りなどは見受けられませんでした。

消防局では、すべての事務において、複数人によるチェック体制を継続するとともにわかりやすい書類の作成や消防局・各署間での連携を図るよう職員に周知しています。今後とも事務の適正化に向けた取組みを進めてください。

資 料

(支出事務)

資料1 補助金等の支出状況	23-7
---------------	------

(財産管理事務)

資料2 最近3か年の重要物品(車両)の状況	23-7
-----------------------	------

(委託業務等)

資料3 委託業務及び請負工事に係る契約の状況	23-7
------------------------	------

資料4 契約における落札率(決定率)の状況	23-8
-----------------------	------

資料5 監査の対象とした委託業務等の状況	23-9
----------------------	------

(業務実績)

資料6 救急活動業務の状況	23-9
---------------	------

資料7 消防無線設備の状況	23-10
---------------	-------

資料1 補助金等の支出状況(令和元年11月末日現在)

補助金等の名称	支出先	交付決定額 (円)	支出済額 (円)	支払日
西宮市消防団 運営交付金	西宮市 消防団	2,020,000	2,020,000	31.4.26

資料2 最近3か年の重要物品(車両)の状況

(単位:台)

区 分	29年度	30年度	31年度	
バ ス	1	1	1	
貨物車	2	2	2	
広報車	12	12	12	
救急車	13	13	13	
司令車	2 (1)	2 (1)	2 (1)	
消 防 車	ポンプ車	46 (38)	46 (38)	46 (38)
	水槽付ポンプ車	9	9	9
	はしご車	4	4	4
	化学車	2	2	2
	救助工作車	4	4	4
	活動支援車等	16	16	16
計	111 (39)	111 (39)	111 (39)	

注1 29年度と30年度は年度末日現在、31年度は11月末日現在。

2 ()は消防団分で内数。

資料3 委託業務及び請負工事に係る契約の状況(令和元年8月末日現在)

区分	委託業務			請負工事		
	件数 (件)	(%)	金額 (円)	件数 (件)	(%)	金額 (円)
一般競争入札	0	0.0	0	0	0.0	0
指名競争入札	4	23.5	27,535,500	3	50.0	12,527,028
入札打切後随意契約	0	0.0	0	1	16.7	59,620,000
見積合せ	1	5.9	498,960	0	0.0	0
特命随意契約	12	70.6	148,343,878	2	33.3	6,307,400
計	17	100.0	176,378,338	6	100.0	78,454,428

注1 設計金額500,000円以上(単年度)のもの。

2 委託業務の件数には指定管理分は含まれていない。

3 金額は当初契約金額。

資料4 契約における落札率(決定率)の状況(令和元年8月末日現在)

(委託業務)

区分	落札率(決定率)							計
	100	100未満 95以上	95未満 90以上	90未満 85以上	85未満 80以上	80未満 70以上	70未満	
指名競争入札 (件)	0	1	1	1	0	1	0	4
構成比(%)	0.0	5.9	5.9	5.9	0.0	5.9	0.0	23.5
見積合せ (件)	1	0	0	0	0	0	0	1
構成比(%)	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9
特命随意契約 (件)	10	2	0	0	0	0	0	12
構成比(%)	58.8	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	70.6
計 (件)	11	3	1	1	0	1	0	17
構成比(%)	64.7	17.6	5.9	5.9	0.0	5.9	0.0	100.0

注 落札率(決定率) = 契約金額 ÷ 予定価格 × 100

(請負工事)

区分	落札率(決定率)							計
	100	100未満 95以上	95未満 90以上	90未満 85以上	85未満 80以上	80未満 70以上	70未満	
指名競争入札 (件)	0	0	0	3	0	0	0	3
構成比(%)	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
入札打切後随意契約 (件)	0	1	0	0	0	0	0	1
構成比(%)	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
特命随意契約 (件)	0	2	0	0	0	0	0	2
構成比(%)	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
計 (件)	0	3	0	3	0	0	0	6
構成比(%)	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0

注 落札率(決定率) = 契約金額 ÷ 予定価格 × 100

資料5 監査の対象とした委託業務等の状況(令和元年8月末日現在)

(委託業務)

区分	件数(件)	契約金額(円)	業務名
(一般会計)			
総務部			
消防費	8 (1)	27,594,584	消防局他9施設 清掃業務 他
消防団費	1 (0)	1,088,640	令和元年度西宮市消防団員定期健康診断業務
消防施設整備費	3 (1)	96,504,000	小松分団車庫他改築工事設計業務 他
警防部			
消防費	5 (2)	48,425,534	デジタル無線設備保守業務 救急現場への救急車医師同乗制度に伴う医師待機業務 他
計	17 (4)	173,612,758	

注1 設計金額500,000円以上(単年度)のもの。

2 件数の()は抽出調査件数。

(請負工事)

区分	件数(件)	契約金額(円)	工事名
(一般会計)			
総務部			
消防費	2 (0)	4,060,368	消防局庁舎給水ポンプユニット取替工事 他
消防団費	1 (1)	6,209,460	芦原分団屋根・外壁他改修工事
消防施設整備費	3 (2)	68,184,600	用海分団車庫・生瀬分団車庫改築工事 北消防署山口分署事務室他改修に伴う指令システム他移設 工事 他
計	6 (3)	78,454,428	

注1 設計金額500,000円以上(単年度)のもの。

2 件数の()は抽出調査件数。

資料6 救急活動業務の状況

(救急隊の配置等)

(令和元年11月末日現在)

区分	救急車 (台)	救急隊 (隊)	選任救急隊員 (人)	補充救急隊員 (人)	救急救命士 (人)	
西宮	本署	2	2	18	8	18
	北夙川分署	1	1	10	6	8
鳴尾	本署	2	2	18	8	17
	浜分署	1	1	10	6	6
瓦木	本署	1	1	10	6	8
	甲東分署	1	1	10	6	9
北	本署	1	1	10	6	8
	山口分署	1	1	10	6	6
整備センター	3	—	—	—	—	
合計	13	10	96	52	80	

注 救急救命士は選任救急隊員及び補充救急隊員の内数。

(救急隊有資格者状況)

(31年4月1日現在)

資格取得別	30年度取得者数	現有資格者数
救急救命士	4人	111人
気管挿管認定救急救命士	4人	53人
薬剤投与認定救急救命士	6人	90人
拡大二行為認定救急救命士	20人	64人
ビデオ硬性挿管認定救急救命士	5人	45人
指導救命士認定救急救命士	1人	4人

(最近3か年の救急活動の概要)

(単位：件・人)

区分	出動件数	出動人員	1日平均 出動件数	搬送人員
29年	23,059	69,536	63.2	21,110
30年	24,723	74,698	67.7	22,659
31年	22,780	68,596	68.2	20,720

注 31年は11月末日現在。

資料7 消防無線設備の状況 (令和元年11月末日現在)

(単位：局・台)

区分	消防局		西宮		鳴尾		瓦木		北		消防団	合計	
	本局	整備センター	本署	北夙川	本署	浜	本署	甲東	本署	山口			
消防救急無線	基地局	1							1	1		3	
	固定移動局			1	1	1	1	1	1			6	
	可搬型無線機	3		1		1		1	1			7	
	車載型無線機	9	8	10	5	9	6	9	5	9	5	39	114
	携帯型無線機	25	7	13	7	12	8	12	7	14	7		112
	デジタル・アナログ 変換装置	1									1		2
	可搬型衛星通信 装置(VSAT)	1								1			2
計	40	15	25	13	23	15	23	13	26	14	39	246	
署活動用無線機	39		46	22	39	17	33	22	31	17		266	

注 消防救急無線は260MHz帯のデジタル方式、署活動用無線機は400MHz帯のアナログ方式。